

業務状況説明書

(令和6年4月1日から令和6年9月30日まで)



富士見市下水道事業

1 令和6年度上半期の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

本年度の上半期は、前年同期と比較し、調定件数が1,770件、有収水量が18,198 m³の増加となっております。また、処理水量は628,775 m³、1日平均処理水量は3,436 m³の増加となっております。

区 分 \ 年 度	令和6年度 上半期	令和5年度 上半期	比 較	
			増 減	増減率 (%)
調 定 件 数 (件)	163,170	161,400	1,770	1.10
有 収 水 量 (m ³)	5,233,281	5,215,083	18,198	0.35
処 理 水 量 (m ³)	6,598,289	5,969,514	628,775	10.53
1日平均処理水量 (m ³)	36,056	32,620	3,436	

イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、流域接続点ゲート更新工事(鶴馬1丁目地内)、管渠更生工事(東みずほ台2丁目地内外)、公共下水道管渠調査業務委託(その1(大字水子地内外))及び公共下水道管渠調査業務委託業務(その2(東みずほ台2丁目地内外))等を実施しています。雨水事業につきましては、別所雨水ポンプ場において、自家発電施設の更新工事及び消防設備の改良工事を実施しています。

特定環境保全公共下水道事業につきましては、道場ポンプ場(大字上南畑地内)及びみどり野ポンプ場(みどり野南地内)の水位計更新工事のほか、舗装本復旧工事(大字下南畑地内)等を実施しています。

(2) 経理の状況(税込)

上半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

(単位：千円)

収 入				支 出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
事業収益	1,830,441	920,663	50.30	事業費	1,699,372	292,965	17.24
営業収益	1,381,893	864,787	62.58	営業費用	1,617,191	255,591	15.81
営業外収益	448,547	54,936	12.25	営業外費用	81,131	37,083	45.71
特別利益	1	940	94034.40	特別損失	550	291	52.95
				予備費	500	0	0.00

イ 資本的収入及び支出

(単位：千円)

収 入				支 出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
資本的収入	1,456,770	32,581	2.24	資本的支出	2,173,183	1,217,971	56.05
企業債	1,197,000	0	0.00	建設改良費	1,628,948	937,918	57.58
国庫(県)補助	218,471	0	0.00	企業債償還金	543,235	280,053	51.55
負担金	41,299	32,581	78.89	予備費	1,000	0	0.00

2 令和5年度決算の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

事 項	令和5年度	令和4年度	比 較	
			増 減	比 率
現在処理区域内人口(A)	112,110 人	111,500 人	610 人	100.55 %
行政区域内人口(B)	113,335 人	113,089 人	246 人	100.22 %
普及率(A)/(B)	98.92 %	98.59 %	0.33	—
水洗便所化人口(C)	111,109 人	110,452 人	657 人	100.59 %
水洗便所済戸数	56,625 戸	56,405 戸	220 戸	100.39 %
水洗化率(C)/(A)	99.11 %	99.06 %	0.05	—
年間処理水量	11,729,079 m ³	12,131,704 m ³	△402,625 m ³	96.68 %
1日平均処理水量	32,047 m ³	33,233 m ³	△1,191 m ³	96.42 %
年間有収水量	10,468,956 m ³	10,567,199 m ³	△98,243 m ³	99.07 %

イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、管渠更生工事を単独事業として905.5m、管渠布設替工事を単独事業として、新河岸第12-2-1処理分区(羽沢1丁目地内)7.3m布設替、管渠築造工事としましては、江川第4処理分区(貝塚2丁目地内)を単独事業として26.6mを実施しております。特定環境保全公共下水道事業につきましては、新河岸第14処理分区(大字上南畑地内外)を単独事業として209.9m管渠築造工事を実施しました。

雨水事業につきましては、浸水被害軽減や施設の延命化等を目的に別所雨水ポンプ場更新工事等を引き続き進めてまいりました。

(2) 経理の状況

ア 収益的収入及び支出

事業収益が 1,705,811,174 円（税込金額 1,799,893,306 円）で前年度対比 0.3%の増となり、事業費用では 1,492,835,056 円（税込金額 1,544,727,219 円）で前年度対比 1.2%の減となりました。この結果、212,976,118 円の純利益となりました。

イ 資本的収入及び支出

収入は 386,236,880 円（税込金額 386,436,645 円）で支出が 966,423,844 円（税込金額 1,000,450,129 円）となりました。なお、資本的収入が資本的支出に不足する額 614,013,484 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 29,955,697 円、過年度分損益勘定留保資金 380,152,477 円、当年度分損益勘定留保資金 3,905,310 円及び減債積立金 200,000,000 円で補填しました。

収益的収入及び支出（税抜）

（単位：円）

収 入			支 出		
科 目	決算額	構成比	科 目	決算額	構成比
事業収益	1,705,811,174	100.00	事業費	1,492,835,056	100.00
営業収益	1,252,375,329	73.42	営業費用	1,406,014,143	94.19
営業外収益	451,401,282	26.46	営業外費用	86,648,386	5.80
特別利益	2,034,563	0.12	特別損失	172,527	0.01

資本的収入及び支出（税込）

（単位：円）

収 入			支 出		
科 目	決算額	構成比	科 目	決算額	構成比
資本的収入	386,436,645	100.00	資本的支出	1,000,450,129	100.00
企業債	334,000,000	86.43	建設改良費	435,619,015	43.54
国庫（県）補助金	11,500,000	2.98	企業債償還金	564,831,114	56.46
負担金	40,936,645	10.59			